

氏 名	じやろんきつとかじょん ぼっさなん CHAROENKIJKAJORN POSSANUNT
学位(専攻分野)	博 士 (学 術)
学 位 記 番 号	博 1 1 7 5 号
学 位 授 与 の 日 付	令和 7 年 3 月 21 日
学 位 授 与 の 要 件	学位規則第 4 条第 1 項該当
研 究 科 ・ 専 攻	工芸科学研究科 デザイン学専攻
学 位 論 文 題 目	Visual Narratives Unveiled: An In-Depth Exploration of Thai Illustration Structures Through Visual Analysis (タイのイラストにおける物語構造の視覚的分析アプローチ)
審 査 委 員	(主査)教授 中野 仁人 教授 平芳 幸浩 准教授 西村 雅信 准教授 山本 史

論文内容の要旨

本論文の目的はタイのイラストレーションの構図法の詳細な検討を通して、物語の表現に見られる独自の文化的・芸術的因素と、描写技法およびレイアウトの相互作用を分析することで、ストーリーテリングに見られるタイ特有の表現技法とその意義を明らかにすることを目指している。そして、タイ美術に関する学術的理解に貢献すると同時に、視覚的ストーリーテリングというグラフィックデザインの普遍的な目標の実現に資することを目的としている。なお、この研究では、タイの伝統的な壁画および写本に見られる絵画表現を現代デザインの文脈で解釈するためにイラストレーションという用語を採用する。つまりイラストレーションは、宗教的、文化的、歴史的な物語を描いた壁画や素描など、過去の職人によって制作された歴史的な芸術作品と、現代のイラストレーションの両方を指すものとする。

本研究は今日のデザイナーやアーティストにとって、タイの物語の視覚表現のルーツに関する実用的な洞察を提供し、今日の多様なグローバル環境において意味のある作品を生み出すためのインスピレーション源として役立つものとして提示している。また、タイの伝統美術に込められた職人技や意図、洗練された物語の表現技法を検証することで、タイ文化の保存にも貢献することを目指す。急速に変化する文化的環境の中で、これらの独自の物語表現の伝統を保存し理解することは重要であり、本研究は文化保存の専門家や次世代のための貴重なリソースとなりうる。

本論文では、タイ伝統のイラストレーションを単なるグラフィック分析にとどまらず、歴史、社会、心理学などの分野とも関連付けており、視覚領域で知られる「視覚文法」と「視覚分析」の2つの概念に基づいて探究を進めている。

本論文は、以下の通り 5 章に分かれている。

第 1 章では、論文の背景について説明し、研究の意義と重要性、および研究の目的と課題について概説している。

第2章は、壁画や写本に焦点を当てながら、タイの視覚芸術の歴史的および理論的な側面について詳述する。タイにおける物語の重要性を掘り下げ、なかでも頻繁に描かれる「トリブミガータ」と「ジャータカ」に焦点をあて、その物語の文化的意義と学術研究の必要性を説く。それらの図像、象徴性、構図のさまざまな側面を、視覚的方法論を用いて精査している。

また、タイの視覚文化における画像制作の社会史やモダリティの構成を論じ、色彩、構造、構図、技法、視点などの視覚要素だけでなく、これらの要素と文化的な物語を結びつける語りの手法を探求している。トリブミガータ写本の後半部分で使用されるグラフィカルな表現を水平方向の物語として分析し、レイアウトの効果が文化的物語を伝達し保存する方法を明らかにする。さらに、初期ラッタナコーシン時代のタイ伝統絵画における斜め構図法を考察し、深度と遠近感および物語の流れを伝えるために構図が果たす役割と重要性を明らかにする。

第3章は、タイのイラストレーションの構図法について垂直、水平、および斜めの3つの方向で提示される物語の詳細な調査を進め、視覚的分析と今日のグラフィックデザインの構図作成プロセスに繋げる手法を提案する。タイのイラストレーションに関する視覚文法理論の枠組みでの包括的な探究は、タイ美術に関する学術的理解を深めるだけでなく、タイの視覚的物語性が伝統的に織り込まれてきた意味と文化的意義を明らかにしている。さらに、同じく宗教画である日本の「地獄極楽図」、「十界図」、「六道絵」や、西洋における宗教画である「快楽の園」や「最後の審判」における斜めの構図を比較検討し、タイのイラストレーションの独自性を浮き彫りにする。

第4章では、伝統的なタイのイラストレーションから導き出された垂直、水平、斜めの物語構図法をもとに、その法則性を応用するための実践的なデザインプロセスを展開している。実際に視覚スタイルの開発、イラストレーションの制作、展開、および展覧会開催を通じて、作品に対する鑑賞者からのフィードバックを提示する。

第5章では、斜めの物語構図法が鑑賞者とデザインの専門家によってどのように受け止められ、解釈されたかを分析する。調査結果が仮説とどのように一致し、それを裏付けているかを検証して、現代のグラフィックデザインの文脈における物語構図法の関連性と実用性を明らかにした。

そして、斜め構図法におけるタイらしさの法則性の実験として「Thai Mai プロジェクト」を立ち上げ、検証をおこなった。このプロジェクトでは、タイ人に限らないプロのデザイナー、イラストレーター10名に参加を呼びかけ、また、デザイン専門家からの意見を収集し、物語の構図法の効果に対するタイらしさの視点を提供する。評価から得られたフィードバックは本研究の結論を確固たるものにし、これらの視覚構造が現代デザインや文化的表現に持つ広範な意義を確認している。

論文審査の結果の要旨

本論文は、タイの壁画や写本のイラストレーションにおける画面構成および構図に着目し、物語を表現するにあたっての文化的背景、精神性、およびタイらしさの表出について検証を進めた

ものである。以下のように評価すべき点が存する。

第一に、タイにおいて重要な画題であるトリブミガータとジャータカの図像における物語の提示方法に着目し、文化的伝統に根ざした独自の物語構造、表現形式の法則性、媒体の形式の意義を明らかにした。第二に、タイのイラストレーション表現において、シンボリックで表面的なモチーフや色彩によらずともタイらしさの表現ができる可能性を見出した。垂直、水平、斜めの3つの軸に焦点を当て、特に斜め構成法にタイらしさが存することを発見した。これまでのタイ絵画の研究は、モチーフやその描写法を検証するものがほとんどであり、本論文は独自の着眼点で調査を進めた研究であると言える。第三に、自らが上記の法則性をもとにしたイラストレーションを作成するとともに、複数のデザイナーに参加を呼びかけ、画面構成によるタイらしさの表現の実験をおこない、実践的に検証した。綿密な資料の収集、分析と、デザインの実践を通じて分析を進めるという手法は評価に値する研究である。このように、本論文は歴史的、造形的に広範囲にわたる慎重かつ緻密な調査作業を踏まえて、独自の視点からの分析、考察を展開したもので、博士学位論文として十分評価に足るものである。なお、本論文の一部は、いずれも以下の査読付の論文と作品としてすでに公表されている。

① Possanunt Charoenkijkajorn, Nakano Yoshito :

Exploring the Layout Design of Tribhumigatha: Analyzing the Uniqueness of Thai Heritage Manuscript 10th International Conference on Illustration and Animation Conference Proceedings , pp. 716-724, (2023)

② Possanunt Charoenkijkajorn : Continuity across Horizons: Graphical Analysis of the Tribhumigatha Manuscript, Rear Side, The International Journal of Visual Design, Volume: 18, Common Ground Research Networks pp. 99-115 (2024)

③ Possanunt Charoenkijkajorn, Nakano Yoshito :

E Oblique structure in Thai traditional mural painting during the early Rattanakosin period: a composition analysis, Art and Architecture Journal Naresuan University (AJNU) (2025) (in press)

④ Possanunt Charoenkijkajorn : The Impact of Thai Narrative Structures on Viewer Engagement: Exploring Vertical, Horizontal, and Oblique Axes in Visual Storytelling (Best Art Paper), International Conference for Asia Digital Art and Design. Taiwan (2024) (in press)

⑤ Shibuya Art Awards : A Siamese and the Samurai: Finalist (2024)

⑥ 大阪市 令和 5 年度外国人留学生ビジネスモデルコンテスト：観客賞 (2024)